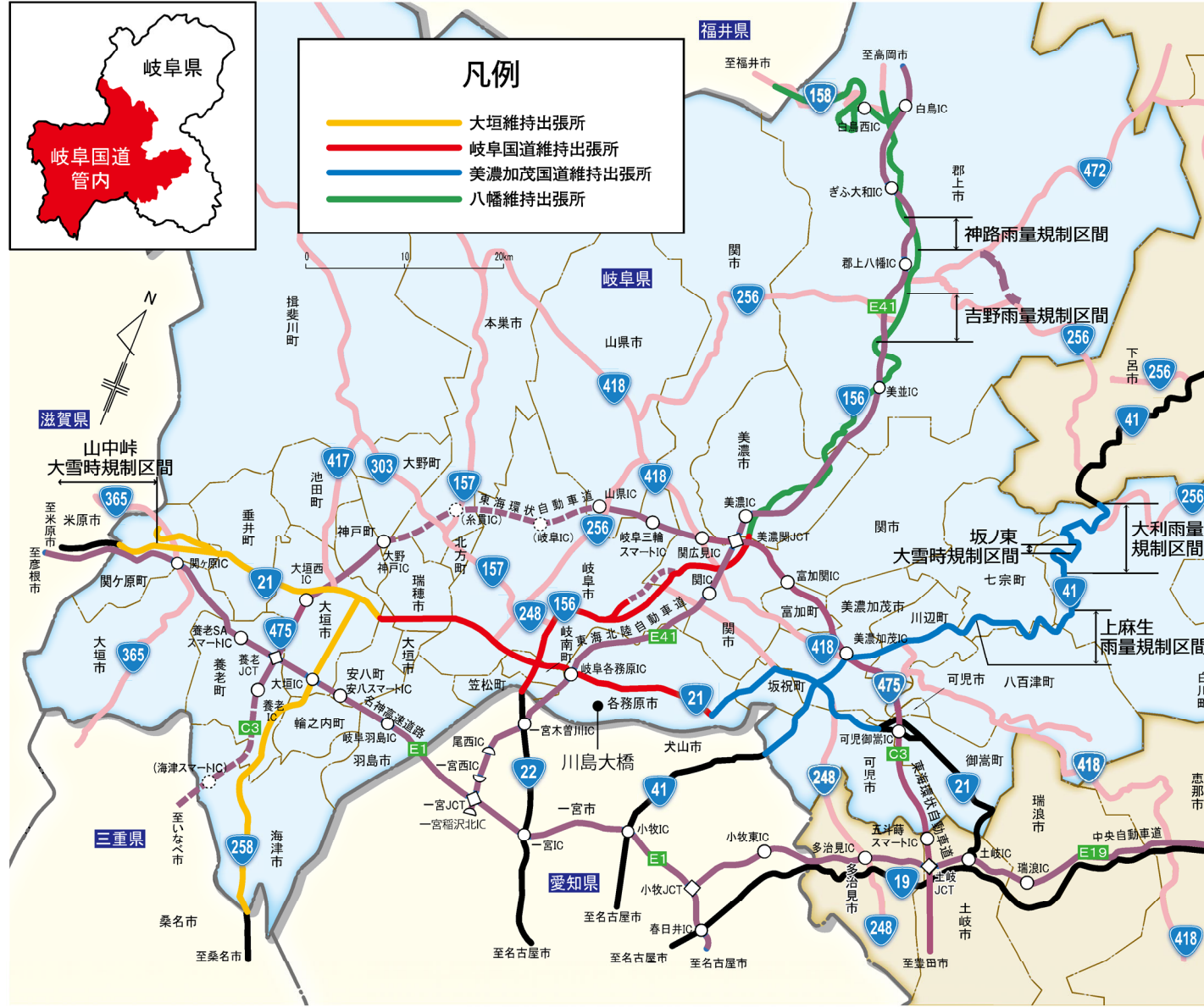


事務所概要

管内図

岐阜国道事務所は、岐阜県西南部の国道(6路線・約237km)を管理しています。



[異常気象時事前通行規制基準表]

路線名	規制区間名	区間延長	通行止
国道41号	かみあそ 上麻生規制区間	自七宗町榎原 至白川町河岐	11.4(km) 連続雨量150mm 換算連続雨量100mm
	おおい 大利規制区間	自白川町坂ノ東 至下呂市金山町井尻	12.5(km) 連続雨量150mm 換算連続雨量100mm
国道156号	よしの 吉野規制区間	自郡上市美並町三戸字瀬上 至郡上市八幡町稲成	6.3(km) 連続雨量150mm 換算連続雨量130mm
	かんじ 神路規制区間	自郡上市八幡町五町 至郡上市大和町神路	3.1(km) 連続雨量150mm

[降雪による予防的通行規制区間]

路線名	規制区間名	区間延長	通行止め
国道21号	やまなかつ 山中峠	自関ヶ原町関ヶ原 至滋賀県米原市西門寺	17.0(km) 降雪により大規模な立ち往生車両の発生が 予見される場合に、事前に(予防的)通行 止めを行い集中的な除雪作業を実施すること により、道路交通への影響を抑制する区間
国道41号	さかのひがし 坂ノ東	自白川町河東 至白川町坂ノ東	0.9(km)

[路線別管理延長]

路線名	路線延長	管理延長			
		大垣維持	岐阜維持	美濃加茂維持	八幡維持
21号	(6.3) 71.9km	(6.3) 29.1km	27.0km	15.8km	-
22号	2.4km	-	2.4km	-	-
41号	49.0km	-	-	49.0km	-
156号	(2.3) 74.6km	-	(2.3) 23.8km	-	50.9km
158号	11.1km	-	-	-	11.1km
258号	27.6km	27.6km	-	-	-
合計	(8.5) 236.6km	(6.3) 56.7km	(2.3) 53.2km	64.8km	62.0km

※()はバイパス延長で内書
各管理延長は少数点第二位を四捨五入
※158号は、中部縦貫自動車道 油坂峠道路 (R6.4現在)

事業費

今年度は、東海環状自動車道、改築8箇所、交通安全事業5箇所、電線共同溝事業5箇所及び道路災害復旧事業1箇所の事業を実施します。

工事	路線名	市町村名	事業名	事業費(百万円)		令和6年度の事業内容	
				R5補正	R6当初		
改築	475		東海環状自動車道 計	2,940	16,618		
	475	土岐市～関市	土岐～関	-	10	調査設計	
	475	関市～養老町	関～養老	470	1,390	調査設計、改良工事、移転補償	
	475	養老町～海津市	養老～北勢	2,470	15,218	調査設計、用地買収、改良工事、橋梁上下部工事	
				改築 計	450	3,896	
	21	岐阜市～大垣市	岐大バイパス	250	1,300	調査設計、用地買収、改良工事	
	21	垂井町～関ヶ原町	関ヶ原バイパス	-	20	調査設計	
	41	美濃加茂市～川辺町	美濃加茂バイパス	-	10	調査設計	
	41	七宗町～白川町	上麻生防災	200	658	調査設計、用地買収、改良工事	
	156	岐南町～関市	岐阜東バイパス	-	1,683	調査設計、用地買収、移転補償 改良工事、橋梁下部工事、トンネル工事	
	156	郡上市	郡上大橋架替	-	165	調査設計、用地買収	
	256	郡上市	堀越峠道路	-	50	調査設計	
258	大垣市～海津市	大桑道路	-	10	調査設計		
交通安全			交通安全 計	-	663		
	21	各務原市	岐阜21号交通安全対策 各務原地区交差点改良 那加大東町交差点改良	-	367	調査設計、用地買収、工事	
		大垣市	荒尾町交差点改良	-	40	工事	
	156	岐阜市	岐阜156号交通安全対策 芥見大船交差点改良	-	296	調査設計、工事	
		郡上市	大島歩道整備	-	198	調査設計、用地買収	
電線共同溝			電線共同溝 計	-	472		
	21	瑞穂市	穂積電線共同溝	-	30	調査設計	
		大垣市	大垣楽田電線共同溝	-	20	調査設計	
		大垣市	大垣中川電線共同溝	-	30	調査設計	
	258	大垣市	大垣電線共同溝	-	372	調査設計、工事	
		大垣市	大垣横曽根電線共同溝	-	20	調査設計	
道路災害復旧事業(直轄権限代行)			災害復旧事業 計	2,800	-		
		一般県道 松原羊島線	各務原市	2,800	-	調査設計、新橋設置工事、仮設工事	

※市町村名は、R6年4月1日現在。
※事業費は、岐阜県内のみを示す。

※上記の他に維持修繕費に係る予算がある。

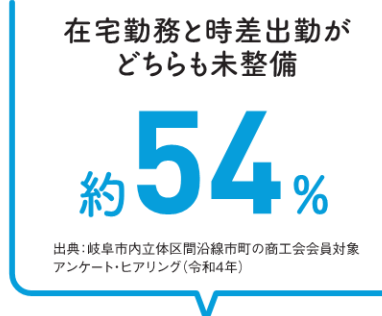
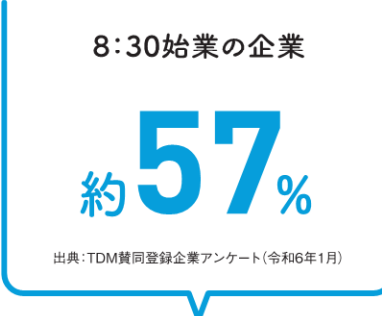
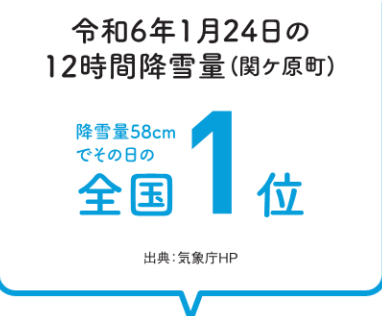
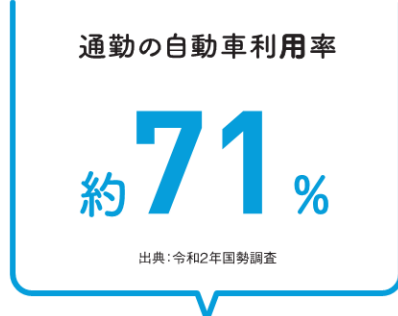
みちみちすいすいプロジェクト（旧：岐阜県TDMプロジェクト）

● 岐阜県では、朝夕の通勤時間帯に市街地等で慢性的な渋滞が発生しています。この課題や多様な働き方に対応するため、時差出勤等の制度作りや制度活用に取り組むみちみちすいすいプロジェクト（旧：岐阜県TDMプロジェクト）を、本取組に賛同頂ける企業・自治体の皆様とともに実施しています。

いくつかの要因が重なって起こる岐阜県の交通渋滞。 渋滞緩和のために、あなたにできることがあります。

岐阜県の交通渋滞には、いくつかの要因があります。自動車利用率の高さ、県内各所から限られた道路に集中する車、多くの企業で共通する始業時間。さまざまな要因が重なって、慢性的な渋滞が発生しています。しかし、一人ひとりのワークスタイルや企業の体制を見直していただくことで交通渋滞の緩和につながります。

プロジェクトの詳細はHPをご覧ください。
経緯・渋滞の現状等も載せています。

岐阜県の自動車利用率は全国的にも高く、県人口の約7割が通勤で自動車を利用しています。世帯当たりの自動車保有台数は1.53台で全国8位となっています。

国道21号は県内各所から車が集中し、岐阜市内では1日平均約6万3千台が通行します。1万5千台以上が通行する南北主要道路との交差点も多く、車の通行量の多さが混雑の要因の一つとなっています。

県内で深刻な渋滞が発生する場所は168箇所。国道21号では、岐阜市内のほとんどの区間で朝7時台の走行速度が20km/h以下となり、5つの交差点が県内の事故多発箇所のワースト10に入ります。

令和6年1月24日、関ヶ原町でその日の全国1位となる降雪量を記録。県内各地で284件のスリップ事故が発生しました。日頃から渋滞対策に取り組むことは積雪時の交通障害を減らすことにも効果的です。

岐阜県の自動車利用率の高さとともに、出社時間が8時30分に集中していることも慢性的な渋滞の原因となっています。始業時刻を見直すことは渋滞緩和の有効な手段といえます。

県内の半数以上の企業が、時差出勤や在宅勤務の制度が未整備となっています。時代や社会動向に合わせてフレキシブルな働き方を探り入れることはビジネスの効率化にもつながります。



あなたに始めてほしい、4つのこと。

渋滞は仕方ないこととあきらめず、みんなで少しずつチャレンジすれば、岐阜の朝はもっと快適に変わります。

01 ↓ **時差出勤**



ラッシュアワーをずらして家を出ることで、渋滞に巻き込まれることなくスムーズに出勤できます。いつもより通勤時間が短縮でき、その分余裕も生まれます。

02 ↓ **ルート変更**




ふだんの通勤ルートを変えて、新しい順路を試してみよう。多少遠回りでも、車が少なく走りやすい道路が見つかるかもしれません。 ※生活道路の抜け道利用はお控えください。

03 ↓ **リモートワーク**



コロナ禍の影響でリモートワークや在宅勤務が浸透しつつあります。フレキシブルな働き方で出社の日数を減らすことは、渋滞の緩和にも役立ちます。

04 ↓ **交通手段の変更**



通勤を公共交通にかえたり、徒歩や自転車での移動もおすすめです。渋滞のストレスから解放されるだけでなく、身体を動かすことで健康の促進にもつながります。

※TDM（交通需要マネジメント）：車の利用者の交通行動の変更を促すことで交通混雑を緩和する手法